

『不動産ファンドフォーラム2024』を開催
～地方リートと国内不動産投資市場がテーマ～

アセットブレイクインズ仙台ネットワーク

不動産投資市場の景況感
は金融環境の変化の影響も受けず良好な状態が継続し、投資家の投資姿勢も積極的で、首都圏の物件不足を背景に地方都市への投資が注目されている。国内リート市場

(Jリート、私募リート)は資産総額約30兆円、115法人となり順調に成長を遂げており、近年、特に地域活性化を目指す「地域特化型リート」が地方都市で設立され増加傾向にある。

このような状況の中、資産活用をサポートするコンサルティング活動を行っているアセットブレイクインズ仙台ネットワーク(事務局・仙台市泉区上谷刈1の7の35 佐々木正之事務局長)は、11

地方リートと国内不動産投資市場がテーマ

11月8日(金) 仙台市江陽グランドホテル

本紙など後援 不動産ファンドフォーラムを開催

月8日(金)の14時30分から17時30分まで、仙台市青葉区本町の江陽グランドホテルでオープンセミナーとして「不動産

ファンドフォーラム2024イン仙台」地方都市

産研究所、仙台商工会議所不動産部会などが後援する。

会場参加の定員は150人(応募者多数の場合抽選)とし、動画視聴希望者(100人予定)

業用不動産市場の動きを総括する。

第1部では北海道リート投資法人執行役員で北海道アセットマネジメント代表取締役の濱野恭義氏が「地域特化型私募REIT『北海道リート投資法人』の概要と基本方

における地方創生セミナー」を開催(参加費無料)し、地域不動産戦略と国内不動産投資市場の現状について専門家が講演を行う。

建設新聞社や一般社団法人・不動産証券化協会、一般財団法人・日本不動

には後日、パスワードを発行し動画配信する予定。

2部構成のセミナーに先立ち、アセットブレイクインズの佐々木事務局長が、『仙台・東北圏の最新事業用・投資用不動産事情2024・秋』として、今年1年間の仙台圏の事

針」と題し、全国初の地域共同型リートとして地域不動産戦略のプラットフォーム機能を目指す活動内容について説明する。

第2部では、「日本の不動産投資市場の現状と今後の動向について」として、公立大学法人宮城

大学客員教授で不動産証券化協会フェローの田邊信之氏が経営環境の変貌下における不動産投資市場の現状と地域特化型リートの可能性について解説する。

――◇――

セミナーへの参加希望者は、会場参加か動画視聴を選択した上、申込書に必要事項を記入し、FAX(022-374-4569)かメール(asset-b@ac.aone.net)にて申し込む。申込書は同ネットワークのHP(<http://www.asset-b.net/>)からダウンロードできる。問い合わせは、アセットブレイクインズ仙台ネットワーク事務局(022-773-6685)まで。